

生命（いのち）の安全教育【中学校】 動画教材活用の手引き

動画の狙い

「生命（いのち）の安全教育」教材と指導の手引きの内容を踏まえ、授業等において、教員等が子供たちに効果的に「生命（いのち）の安全教育」を指導することができ、かつ、子供たちの理解を深めることを目的として作成したものであり、動画教材を活用して授業等を行う際は、事前に「生命（いのち）の安全教育」教材と指導の手引きを参照するなど準備した上で授業を行うこと。

動画教材の概要

中学校向け動画教材は3つの場面に分かれており、全体を通して動画を視聴させるほか、場面ごとに分けて視聴させることができる。

- よりよい人間関係ってなんだろう？⇒00:36
- 性的な暴力とは？⇒06:17
- もし性的な暴力の被害にあったら⇒17:56

指導のポイント

●よりよい人間関係ってなんだろう？

心と体の安全な距離とはどのようなものか、生徒自身に考えさせるために動画を視聴する。

【ワーク例】相手と接するとき自分が心地よいと感じる距離感はどのくらいなのか、家族、友達、知らない人などのパターンでそれぞれ考えさせる。

●性的な暴力とは？

性的な暴力とはどのような行為を指すのか、動画を視聴し考えさせる。

【ワーク例】動画の事例から、デートDVの4つの行為（①身体的暴力、②精神的暴力、③性的暴力、④経済的暴力）がなぜ性暴力なのか、ワークシートなどを用いて考えさせる。こうした行為に対し、どうすれば防ぐことができるか考えさせる。

実写事例1 デートDV⇒08:29

実写事例2 SNSで巻き込まれる性暴力（下着の写真を送ってしまう）⇒10:53

*動画を視聴し、①自分を大切にする、②相手を大切にする、③暴力をゆるさない、④SNSのやり取りで下着姿や裸の写真を送らないことを理解させる。

【ワーク例】ワークシートなどを用い、どのような関係で性暴力が起こりやすいかを考えさせる。

【ワーク例】性暴力の被害に遭った時に、①心に起こること、②体に起こることを、ワークシートなどを用いて考えさせる。

*動画から、SNSで裸の写真を送らせたり投稿したりすることは犯罪であることを理解させる。拡散しない、大人に報告することを確認させる。

【ワーク例】SNSによる事件発生数や、どのような投稿が被害に遭いやすいかを調べさせる。自分の写真だけでなく、心の悩みなどの投稿をすることによって「悩みを聞いてあげるよ」と近寄られ、それが被害につながることもあることを伝える。

●もし性的な暴力の被害にあったら

性的な暴力の被害に遭った後、自分を責めてはいけないことや、安心できる大人に相談することなどを動画の視聴により理解させる。

【ワーク例】他にどのような専門の相談機関があるか、自治体のHPなどから調べさせる。